

2019年10月29日

各位

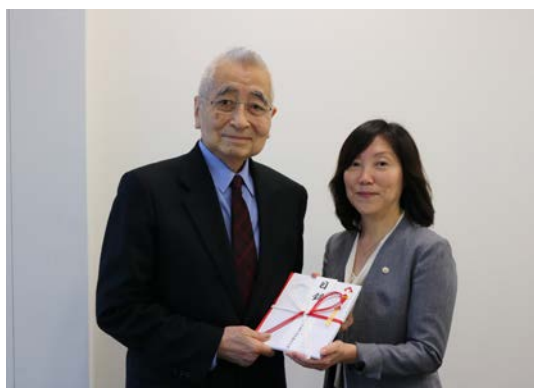
ジブラルタ生命保険株式会社

「特定非営利活動法人 丸山ワクチンとがんを考える会」に
社内表彰賞金1万ドルを寄付

ジブラルタ生命保険株式会社(本社 東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO 添田 毅司)は、親会社であるプルデンシャル・ファイナンシャル(本社 米国ニュージャージー州ニューアーク)が創設した「坂口 陽史(さかぐち きよふみ)ゴールデン・ハート・メモリアル・アワード*1」の2019年度受賞者に有藤 佳美(ありとう よしみ)エグゼクティブ・ライフプラン・コンサルタント(川越支社 所沢営業所所属)が選定されたことを受け、同賞の賞金1万USドル(※)を、有藤が寄付先として希望した特定非営利活動法人 丸山ワクチンとがんを考える会*2(所在地 東京都千代田区、理事長 丸山 茂雄)へ贈呈しました。

10月25日(金)、本社(プルデンシャルタワー、東京都千代田区)で贈呈式が行われ、寄付金目録を受け取った丸山理事長からは、「このたびのご寄付、心から感謝申し上げます。頂いたご寄付は、研究助成の一助として研究者に届けたいと思います。」と感謝の言葉が贈られました。

有藤は今回の寄付金贈呈に際し、「生命保険に携わる以上、避けられない病である「がん」に対し、その治療や研究の役に立てればと考え、寄付を致しました。今後も引き続き、団体への支援をはじめ社会貢献活動に取り組んで参ります。」とのメッセージを述べています。



[写真左] 丸山理事長に寄付金目録を手渡す有藤



[写真右] 来賓参加者等で記念撮影

(※) 寄付金額について

1万USドルの賞金は、振込手配時点の円・ドル為替レートで日本円に換算し、団体に寄付しております。日本円での寄付金額は1,087,400円となりました。

参 考 資 料

さかぐち きよふみ

*1「坂口 陽史 ゴールデン・ハート・メモリアル・アワード」について

賞名に冠されている坂口陽史(きよふみ)(故人)は、日本を含める 10 カ国で事業展開するプルデンシャル・ファイナンシャルの国際保険部門の育ての親で、プルデンシャル生命保険株式会社の創業者です。

同賞は、世界最大級の金融サービス機関であるプルデンシャル・ファイナンシャルが掲げる生命保険に対する理念、そしてお客さまに対する一生涯にわたる献身的なサービスの提供といった使命を、社員に伝承していくために 2002 年に創設されました。プルデンシャル・ファイナンシャルの国際保険部門傘下の生命保険会社で、最も良き手本となった営業社員を各社ごとに毎年1名選定し、その栄誉を称えとともに、受賞者が希望する慈善団体に1万ドルを受賞者名で寄付します。

今回受賞した有藤は、常にお客さまに焦点を合せた質の高いビジネスを追求している姿勢に加え、ボランティア意識も非常に高く、地域社会への積極的で多様な貢献活動が評価され、ジブラルタ生命全国の営業社員約 8,000 名の代表として選ばれました。

*2 特定非営利活動法人 丸山ワクチンとがんを考える会について

特定非営利活動法人 丸山ワクチンとがんを考える会は、がん治療の可能性を広め、患者の生活の質の向上に貢献し、患者・家族・一般市民の保健、医療または福祉の増進を図り、医学の向上、発展に資することで社会全体の利益に寄与することを目的として、2005 年に設立されました。主な活動内容としては、がん患者・家族・一般市民に対して、丸山ワクチンを始めとする免疫療法及び代替療法等のがん治療についての情報普及及び啓発事業、教育事業、研究助成事業を行っています。

ホームページ : <https://www.ssm-cancer.gr.jp/index.html>